

第103回 二 科 展

NIKA

103RD NIKA ART EXHIBITION

被災地児童作品特別展示

大好きなふるさと、西原村の四季ー熊本の復旧・復興を願ってー



熊本県阿蘇郡西原村立山西小学校

会場：国立新美術館

会期：2018年9月5日～9月17日

「大好きなふるさと、西原村の四季」の制作にあたり

熊本県阿蘇郡西原村立山西小学校 校長 東 光洋

「西原村は、去年の大地震で大きな被害を受けましたが、山西小も笑顔いっぱいの学校です。」これは、昨年(平成29年)4月、就任式での当時6年生の代表児童の言葉です。平成27年に内閣府の経済指標ランキングで「競争力の強い村」日本一の評価を得た西原村は、平成28年4月14日午後9時26分震度6弱の前震と、4月16日午前1時25分震度7の本震を含む3日間に6回にもおよぶ震度5以上の地震により、壊滅的な被害を受けました。それは、子どもたちの心身にも想像を絶する影響を与えました。

しかし、こんなときだからこそ、人は「なかよく」も「かしこく」も「たくましく」もなれることを、愛情あふれる家族、心温かい地域の方、そして多くの方々の物心両面の支援により、子どもたちは子どもならではの細やかな心で感じ取っていました。

学校でも、「山西復興プロジェクト」を立ち上げ、6年生も5年生の時に、避難所や仮設住宅の方々、復旧・復興に係わる方々との交流など、「復旧にたずさわる思いを知り、自分たちができることを考え行動」し、「復旧・復興新聞」や「劇プロジェクトN:地域とつながり、自分たちにできること」をつくり村内外に発表・発信していきました。

そして、6年生となった昨年(平成29年)、二科会の皆様から「山西復興プロジェクト」の集大成ともなるこのような機会をいただきました。

作品では、桜や赤牛、紅葉、冬あかりなどの西原の四季折々の美しい自然や生き物などを、校区の象徴である俵山の草原をベースに、「大好きなふるさと、西原村の四季」として、46名が4班に分かれ、力強く表現しています。

子どもたちは、自由にのびのび描くことの楽しさを感じ取りながら、ふるさとを思い、復興に向けた決意を新たに引き出していました。それは、観る者を感動させる迫力ある作品となりました。二科会の皆様に心より感謝いたします。

復興について、「本当の復興は、西原村が、熊本地震の前より『すてきな村』になったときであり、『あのとき、みんながんばったね。』と笑顔で話せるときだと思います。」と子どもたちに語られた方がいます。その復興に向けた象徴として、この作品は、本校玄関正面の壁面に飾ります。

作品制作にあたり

公益社団法人 二科会

この度は、先の熊本地震で大きな被害を受けた、熊本県阿蘇郡西原村立山西小学校6年生を対象に、細やかながらも、何らかの形で出来ないものかと考え、私達、公益社団法人二科会会員一同は、子供達と一緒に絵画制作を通して応援していくことにしました。

山西小学校は、阿蘇外輪山の麓に位置し、大変素晴らしい自然に恵まれた所で、児童生徒の数も少しずつ増加傾向にあると云うことでした。子供達は礼儀正しく、元気良く、明るく、はつらつとして、とても素晴らしい学校だなと思ったのが、まず第1印象でした。

私達二科会からは、本部の方から理事・監事・事務局長・評議員・スタッフ数名がアドバイスをを行う中、子供達は初めての大きさである400号のキャンパスに取りかかり、わずか2日間で大作を完成させたのです。

子供達は、6年間を通して、学習計画の中で、自分の住んでいる西原村の自然に触れ、観察し、知識を深めていた為か、作品制作にスムーズに取りかかれたのには感動させられました。

作品の中に、自分達が住んでいる愛する村の表現が充分表現されている様に思われます。作品は、共同制作の形で行いましたので、お互いに協力し合い、1つの表現に向って、飽きることなく集中し、完成した作品を見て、完成の喜びと達成感を得ている様に感じられました。

この度の絵画制作を通して、地域の皆さんが、それぞれの立場で、子供達の為にサポートされておられるのを痛感いたしました。共同制作の作品が子供達をはじめ、学校を訪れる多くの人々にエールを送ってくれれば良いと思います。

最後に、西理事のウクレレと私のハーモニカとピアノによる伴奏で、元気良く大きな声で、ふるさとの歌を全員で唄った後、私達全員と子供達全員が頑張ろう!と励まし握手をして、終了しました。

(文責 監事・熊本支部長 木戸征郎)



▲作品の前で新川晃英教頭先生を囲んで記念撮影



▲オープニングセレモニー(テープカット)

第103回二科展は、9月5日のオープニングセレモニーで開幕。翌日未明に北海道胆振東部地震が起こるなど、今年は酷暑・水害・台風・地震等の猛威を日本中で感じた夏でありましたが、二科展は多くの来館者を迎え無事に終了することができました。

本年度7回目となった被災地児童の作品共同制作は、熊本県阿蘇郡西原村立山西小学校の児童が、大好きなふるさとの四季折々の美しい自然を描いた作品が展示され、観覧者に深い感銘を与えました。山西小学校からは新川教頭先生



▲山西小学校正門前にて 二科会作品制作指導スタッフ

を始め担任の先生方も美術館においで下さり、また、村役場企画商工課からのお呼び掛けで関東在住西原村出身の方の会「関東にしはら会」の皆様も作品の前に集合され、また、そこで偶然にも西原村出身の方との出会いが生まれるなど沢山のドラマが繰り広げられました。

4部門(絵画・彫刻・デザイン・写真)の会員によるチャリティーコーナーでは、被災地支援の義援活動や、絵葉書を「絆通信」として活用していただくなど、東日本大震災、熊本地震の被災地支援活動を行いました。

大好きなふるさと、西原村の四季

熊本県阿蘇郡西原村立山西小学校 制作 作品サイズ：3240mm×2606mm/ 作品制作期間：2017年11月3日～4日



阿蘇と制作風景スケッチ
二科会義援担当理事：宮村 長



▲作品(1日目制作)の前で記念撮影



▲完成作品(2日目制作)の前で記念撮影

熊本県阿蘇郡西原村立山西小学校		
校 長：	東	光 洋
教 頭：	新 川	晃 英
6年1組担任：	西 岡	茂 昭
6年2組担任：	菅	紫
れんげ2組担任：	村 山	美由紀

参加児童 6年1組		
飯 島	叶 太	平 岡 なつめ
一 門	克 磨	廣 瀬 尚 輝
桂	心 結	藤 田 心 菜
桂	悠 真	松 崎 未 菜 美
小 林	愛 佳	松 永 朋 樹
小 堀	瑞 月	松 村 康 平
米 田	篤 生	松 本 盛 孝
繁 富	利 久	三 村 藍 花
武 田	優 斗	村 上 玖
西 川	日 和	山 西 虎 太 朗
日 置	万 里 那	山 本 愛 結
東 龍	之 介	

参加児童 6年2組		
岩 下	幸 奈	馬 場 侑 翔
薄 波	楽	廣 田 展 吉
大 田	怜 奈	藤 本 崇 汰
岡 野	禎 輝	船 田 柊 翔
倉 田	桃 羽	松 岡 汐 夏
阪 本	真 伍	松 永 美 紗 佳
新 川	駿	松 本 真 佳
武 田	智 美	蓑 田 尚 篤
田 中	美 優	森 下 翔 真
玉 木	陽 乃 進	山 崎 一 慶 樹
戸 田	涼 雅	山 田
西 田	亜 未	

〈作品制作指導〉
西 健 吉
宮 村 長
木 戸 征 郎
馬 場 一 郎
田 浦 哲 也
塙 珠 世



※二科会の先生たちから指導を受けながら作品制作

制作 1 日目



制作 2 日目



▲大好きなふるさと、西原村の四季 作品完成



第103回 二科展 被災地児童作品特別展示

二科会作品制作指導

西 健吉・宮村 長・木戸征郎・馬場一郎
田浦哲也・塙 珠世

公益社団法人 二科会

〒160-0022 東京都新宿区新宿 4-3-15
レイフラット新宿 501号室
TEL.03-3354-6646 FAX.03-3354-4768
メールアドレス nika@nika.or.jp
公式ホームページ <http://www.nika.or.jp>
